

# 平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

上菅田地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### 地域の現状と課題について

地区内には、65歳以上の高齢化率が50%を超え、かつ75歳以上が30%を超える2つの大きな県営団地があります。高齢者夫婦を中心にした核家族化が進む中で、独居高齢者が増えています。さらに地域活動の牽引者である自治会役員、地区社協の役員、民生委員の高齢化が進行しており、高齢者が高齢者を支えていかなければならない現状となっています。

フォーマルサービスの介護保険サービスだけでは、支えきれない方が多く暮らしている地域といえます。インフォーマルサービスの育成と、地域の支えあいが重要な地域課題となっています。

具体的には、地域住民、地域団体、福祉サービス事業所、民間事業者等の地域連携を図る中で、そこから日常生活圏内での見守り強化を住民主体で構築していくことが大切です。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- ・ エレベーター保守点検の実施
- ・ 自動ドアの定期点検
- ・ 定期的なジュータン清掃の実施
- ・ 防火管理の遂行
- ・ 受電設備の保守点検の実施
- ・ 飲料水の受水槽清掃の実施
- ・ 水質検査の実施
- ・ ボイラー点検

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・ 省エネ経費削減対策として、照明のLED化を図りました。
- ・ 施設運営については、法人本部との連携において人事、労務、経理について業の役割分担を行い、効率化を図りました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付は、「上菅田地域ケアプラザ相談窓口」を設け、掲示し利用者の方々に周知しました。また、「なんでもご意見箱」を常時設置し、苦情をはじめ、ご意見・ご要望等を受け付ける体制を整えています。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 法人が制定している「災害対策マニュアル」を基本に体制を整え、今年度は、法人が運営管理している「ライフメール」（職員の携帯電話による安否確認）の訓練を2回実施しました。
- ・ 特別避難場所としての「上菅田地域ケアプラザ災害対応マニュアル」を制定し、体制を整えました。また、横浜市からの追加の物資補給を受けました。
- ・ 地域の防災拠点運営委員会（新井小学校地域防災拠点管理委員会）に参加しました。また、新井小学校地域防災拠点での避難訓練にも参加し、連携を図りました。
- ・ 千丸台商店街「ふれあい館」の防犯パトロールに参加し、連携を図りました。また、無線機を設置し緊急時の連絡体制を強化しました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・ 全職員が事故の未然防止の意識を持って業務に当たり、常に危機意識を持って対応をしました。
- ・ 通所介護事業においては、朝の打ち合わせ時に、必ず利用者の方々の状態の確認をし、事故防止に努めました。  
事故報告、インシデント報告は速やかに行い、会議等で検証・検討し、事故再発防止に努めました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

##### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報保護の取組として、年度初めの職員会議、新規採用時、異動等の際に必ず研修を行い、職員の意識確認・向上に努めました。
- ・ 個人情報が記載されている書類等は、施錠がされている棚に保管をし、基本的には持ち出し禁止として個人情報保護に努めました。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 地域ケアプラザの情報に関しては、広報紙「まんまるだい通信」を毎月発行し、広く地域に伝えました。また、ホームページにも活動状況を掲載し、広報に努めました。
- ・ 通所介護事業については、新聞「ひまわり」の発行により利用者の方々やご家族に活動について広報しました。
- ・ 利用者本人又は家族よりサービスの内容・情報等の閲覧希望があれば、適宜開示できる対応に努めました。

#### ク 人権啓発への取組について

28年度はデイサービスの月例会議で、認知症の利用者の方々に対する家族対応、介護・医療の連携など50事例の読み合わせを実施し、そのケースについて話し合う時間を確保しました。認知症で苦しむ利用者の方々や家族への共感を通して、人権に関する学びとしました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 県の条例に基づき、館内及び敷地内の禁煙を実施し、利用者の方々にも協力をしていただきました。
- ・ 日々の清掃を基本とし、また定期的な業者による館内清掃を実施し、環境衛生を優先事項として取り組むことで、利用者の方々への快適な環境の提供に努めました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）
プランナー	1名（常勤兼務）

#### 《目標》

- ・ご本人が希望の持てる将来像をイメージすることができるように支援して、且つそのイメージを目標とし一緒に行動することができるよう信頼関係作りに努めました。
- ・フォーマル及びインフォーマルサービスを有効活用していき、地域における各種関係機関とも連携しながら独自の支援計画の作成に努めました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特に無し

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・各地域で開催している教室や会合、サロン等に積極的に参加をし、介護予防の普及や情報提供に努めました。
- ・当ケアプラザは来所するには交通が不便という意見が以前より多くあり、継続して地域に出向いてぷらざカフェ、介護予防教室や講座など多く開催して、地域の方たちの交流の場づくりに努めました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
183	201	191	186	181	182
10月	11月	12月	1月	2月	3月
177	183	178	176	183	191

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 1名（常勤専従）  
 介護支援専門員 1名（非常勤専従）  
 事務員 1名（常勤兼務）  
 ※9月より介護支援専門員 1名増員(常勤兼務)

《目標》

在宅での生活をご希望される要介護者及び家族にとって、インフォーマル含めて必要と思われるサービスについて情報提供をさせていただきながら、適切なケアプランを作成するよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●特に無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

この地域特性でもある独居や身寄りのない方、或いは困難ケースなどを積極的に担当するよう努めました。

また、上菅田地域包括支援センター・民生委員・介護保険サービス事業所・主治医・その他関係機関との連携を図りながら、質の良いサービスが提供できるよう努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
72	74	73	76	77	78
10月	11月	12月	1月	2月	3月
76	78	79	76	78	71

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴サービス
- 食事提供
- 創作活動
- レクリエーション(カラオケ等)

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 

（要介護1）	780円
（要介護2）	910円
（要介護3）	1045円
（要介護4）	1180円
（要介護5）	1315円
- 食費負担 500円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:35 ~ 16:40（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- ・生活相談員・介護スタッフ 常勤 3名
- ・介護スタッフ 非常勤 13名
- ・看護師 非常勤 3名
- ・調理スタッフ 非常勤 3名
- ・運転スタッフ 非常勤 4名

《目標》

・個別プログラムでは、火曜日と土曜日にボランティア2名に来て頂いて、絵手紙の活動を継続しています。小物作りもスタッフ間で工夫して、季節に応じた作品を考え、提供することが出来ました。また、幾つか選択肢を設ける中で、お一人おひとりで選んだプログラムやレクリエーションに参加して頂き、利用者同士の交流も円滑に行えるよう支援出来ました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・引き続きお好みお弁当を提供して好評をいただいています。
- ・また、夏と冬の季節ごとにお祭り週間を設けて、毎日違った内容を企画して、利用者の方々には楽しんでいただいています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
452	454	453	468	455	470
10月	11月	12月	1月	2月	3月
425	403	400	391	368	377

● 介護予防通所介護事業・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 入浴サービス
- 食事提供
- 創作活動
- レクリエーション(カラオケ等)

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 

（事業対象者）	1 8 3 2 円…週 1 回
（要支援 1）	1 8 3 2 円…週 1 回
（要支援 2）	1 8 3 2 円…週 1 回
	3 7 5 2 円…週 2 回
- 食費負担 5 0 0 円

※その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9 : 35 ~ 16 : 40 （半角で入力 例 9 : 00 ~ 15 : 00）

《職員体制》

- ・生活相談員・介護スタッフ 常勤 3 名
- ・介護スタッフ 非常勤 1 3 名
- ・看護師 非常勤 3 名
- ・調理スタッフ 非常勤 3 名
- ・運転スタッフ 非常勤 4 名

《目標》

・個別プログラムでは、火曜日と土曜日にボランティア 2 名に来て頂いて、絵手紙の活動が継続できました。小物作りもスタッフ間で季節に応じた作品を考え提供行えました。また、幾つか選択肢を設ける中で、お一人おひとりで選んだプログラムやレクリエーションに参加していただき、利用者同士の交流も円滑に行えるよう支援出来ました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・毎年、お好みお弁当を提供して好評いただいています。
- ・また夏と冬の季節ごとにお祭り週間を設けて、毎日違った内容を企画して利用者の方々には楽しんでいただいています。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
65	65	65	69	68	77
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
70	69	72	65	62	58

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・「まんまるだい通信」に「地域ケアプラザは身近な相談窓口です」とアナウンスすることの継続性を今後とも位置づける。
- ・高齢分野に特化せず、広く地域のニーズの掘り起しという点から、隔月にて千丸台団地の民児協に生活支援センター職員と参加して、高齢者にとどまらず精神障害を抱えている住民の相談対応を行ってきた。地区情報の収集強化に繋がっている。
- ・前回からの経過報告や新しいケース相談をまとめた引き継ぎ表を作成し、記録に残し継続している。
- ・ニーズを掘り起こすサテライト機能としてのカフェの役割は大きく、地域情報が集まってきて、地域の担い手の情報交換の場となっている。
- ・カフェへの参加者が増えており、千丸台、笹山地区を中心に様々な連携強化に繋がっている。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・地域ケア会議に5職種が参加し地域の課題への取り組みを行い、今後も継続予定である。
- ・新井町の活性化に向けた5職種（所長を入れると「6職種」）の取り組みは地域住民主体のもとで実施中であり、今後も継続していく予定である。
- ・今年度も千丸台団地のふれあい収集（ゴミだしお助けマン）の事業では、地域の民生委員、地域包括支援センター、地域活動交流部門、てらん広場、資源循環局が連携を取り事業を行っている。
- ・利用者の中には、地域との関係（民生委員、地区社会福祉協議会等）が全く無い方が、ふれあい収集を利用されていて、週3回てらん広場の利用者と交流をされています。
- ・所長を含め6職種が新井町における活動に参加し、地域主体のまちづくりを丁寧にサポートすることができた。今後も継続する課題である。

### 3 職員体制・育成

- ・職員配置は基準を遵守している。通所サービス部門では3人体制の看護師配置を維持するために大変な時期を派遣や法人内のナース配置等で乗り切り、現在は何とか安定した勤務配置が出来る状況となっている。
- ・「安全な車椅子の操作法」、「虐待防止研修」の他に「ノロウィルス予防と対策」、「認知症予防」を職員研修の計画として実施した。
- ・生活支援コーディネーターは4地区の各担当者とペアを組んで活動することでOJTを実施できている。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ・4地区に対して地域主体を基本としつつも地区の状況に応じたネットワーク構築に向けた支援を実施しすることが出来た。
- ・来年度横浜市向陽学園が全国的な児童福祉施設実践報告会の会場となることから当地域ケアプラザの多目的ホールの利用を申し入れている。新たな地域連携として積極的に取り組む予定である。



## 5 区行政との協働

- ・ 3 職種及び地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターで担当地域役割分担を振り分けて、区役所及び区社協と連携しながら、地域における幹事会、理事会、総会などに参加していき地域福祉保健計画推進にむけて取り組むことができた。
- ・ 地域福祉保健計画は5年単位の長期的な計画となっているが、単年ごとのふりかえり機会をもつ事によって、計画の進捗状況について地域の方たちと次年度の目標など共有化できた。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・各地域の会合、イベント等に参加し民生委員、自治会、地区社協、地域住民等と情報提供や情報交換だけでなく、買い物おたすけマン、ふれあい収集等地域との共催事業について一緒に検討しました。
- ・上菅田地域ケアプラザエリアにある4地区で地域活動の中心となっている方々それぞれ4～5名に呼びかけ、今回は「生活支援」をテーマに各地区の取り組み発表とグループワークといった内容で「地域のエリアを越えた連携連絡会」を開催しました。現在行われている近隣地域の活動を知り、活動している中での悩みや課題を共有することができ、これからの各地区での活動の立ち上げや継続に活かせるような会となりました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・地域の会合にて貸室利用の案内、趣味や特技のある方にはデイサービスやイベントでの演奏依頼をしました。
- ・ケアプラ文化祭を開催しました。貸室利用団体の発表の場として、演奏・展示には15団体に参加して頂きました。

### 3 自主企画事業

- ・千丸台地区社会福祉協議会、てらん広場、ケアプラザによる話し合いでは、今後、買い物・ゴミだしの他に連携して行える事業立ち上げを検討中です。
- ・障害についての講座を子育て支援連絡会との共催で開催を検討していましたが、実施には至りませんでした。来年度開催します。
- ・学齢児余暇支援事業を国大生と検討しましたが、実施には至りませんでした。次年度以降どのように連携できるか再度検討していきます。
- ・生活支援コーディネーターと連携して高齢者・シニア世代を対象とした「いざという時に役立つDIY講座」を来年度開催します。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・区ボランティアセンターと連携し、地域のボランティアグループ同士の情報交換会を予定していましたが、今年度は実施に至りませんでした。

地域のエリアを越えた連携連絡会をきっかけに改めて集まりの場を設け、動き出すことになりました。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

・相談件数でいえば昨年度と比較しても大幅な増減は見られないが、地域においてもカフェを基本にして、外に出ていくスタンスを取りながら随時、相談窓口であることを伝えてきた。その際に、例えば相談のみで終了ではなく、緊急性を判断しながら速やかな訪問対応なども行ってきた。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

民児協について千丸台地区においては、折角の時間を大幅にとられてしまうということの不合理から、当面は参加を見合わせる事になったが、生活支援センターとの勉強会という違う名目で参加している。その他の笹山地区と上新地区においては計画通りに参加して情報交換から連携を深めている。

#### 実態把握

相談票の分析による地域課題の抽出を続けていき、今年度は看護師を中心として認知症予防にとりくんできた。その理由としては地域からの要請もあり、地域の特性からして認知症による相談件数も実態として多いこともあり、以下の認知症項目にもつながるが、医師を招いて地域拠点等での講座を行った。また、ケアマネにつながっているから包括としてはお任せしているというスタンスではなくて、定期的に連絡を頂きながらケアマネさんや民生委員さんの負担が軽減できるように役割分担など行いながら包括の役割として出来ることを行った。

### 2 権利擁護

#### 権利擁護

区域全体の取組としてはサポートネットを通じて社会福祉士としての対応力UPに努めた。具体的には後見制度について相談時のロールプレイを通じて、区役所職員の方も交えて留意点など確認しあった。まだまだ相談件数が少ないケアプラザや社会福祉士として対応経験が少ない所もあり、改めて良い意味での情報共有化なり対応力強化ができた。

ケアプラザ単体としては新しく親切された特養を利用させていただく形をとりながら、後見制度についての講座を設けた。対象は施設を利用されているご家族や施設の職員のみならず、地域にも広く周知していくことで多くの参加を頂いた。関心を持っている方が多く居ることも認識できた。

#### 高齢者虐待

区域全体の取組としては横浜市における虐待防止の指針が新しくなったこともあり、区内デイサービス連絡会及びヘルパー連絡会に参加することで、虐待への理解から連携の必要性、注目するポイントなど説明する機会を頂き指針について再確認を行った。

併せて合同ケアマネ連絡会においても、経験年数も様々なケアマネさんがいらっしゃることもあり、改めて新しい指針の理解を深める機会を頂き皆さんで再確認できた。

ケアプラザ単体としては虐待そのものというテーマにまでは至らないが、介護負担

を軽減することも踏まえて、地域資源の理解という意味でも施設見学会を行った。引き続き地域の方から多くの関心を頂き行った。

#### 認知症

区域全体としては昨年に引き続き育生会病院における認知症講座と、今年度は新しく保土ヶ谷中央病院においても認知症講座を開催することができて、大きな意味での医療機関との連携も持てた。包括が主体的に行えることで区内における医療機関との連携にもつながった。

ケアプラザ内においてはオレンジロバの会メンバーを増やしていきながら、小・中学校での講座は開催できている。ロバの会の中でも少しずつ役割分担していき、学校側との調整などメイトさんにも担ってもらえるようになってきた。

また、新しく入った生活支援コーディネーターとの協力により中学校 PTA 役員向けの講座も計画通り開催できた。いわゆる働き盛りの世代に地域で見守り支えていくということが伝えることができた。

なお、新井町自治会館については次年度に持ち越される。

### 3 介護予防マネジメント

#### 介護予防ケアマネジメント力

・サービス事業対象者（要支援者）はADLは自立しているがIADLの一部（掃除機かけや買物等）が行いにくくなっているケースが多く、なぜ「できない」のかアセスメントすると共に「どのように工夫したらできるようになるか」自立への意欲を引き出すようマネジメントに努めている。

・なるべくサービスの依存を生み出さないよう、地域インフォーマルサービス活用の提案をしている。

・委託ケースの初回担当者会議にはできるだけ出席し、過剰サービスの提供にならないようアドバイスしている。

また、「～できるようになりたい」「～したい」という視点で話を展開させている。

・合同ケアマネ連絡会に於いて、介護予防ケアマネジメントの研修を実施。

研修の中で「興味・関心シート」や「生活機能アセスメントシート」の活用について提示した。

・事業対象者の把握には至らなかった。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

#### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・千丸台、笹山、上菅田の各地域で定期的で開催されている会議や集まりに積極的に参加し、地域住民と関係者への情報提供と情報の共有、連携に務めました。（千丸台、笹山、上菅田地区のほっとなまちづくり会議、千丸台、笹山、上新地区の民生委員児童委員協議会会議）

また新しく新井町地域のほっとなまちづくり会議に参加し、今後の地域活動に向けての検討を行いました。

・「ぷらざカフェ千丸台」「ぷらざカフェ笹山」は継続して開催することにより、地域の方からの声掛けもあり参加者が増えて、内容も充実してきました。講師を依頼しての講座や教室、軽食作りなどを実施し、情報提供を行い、多くの地域住民に参加してもらいカフェが定着してきているように感じます。また「上菅田いっぽく茶屋」に関してはカフェの開催にまでは至りませんが、地域開業医による健康講座を保土ヶ谷区地区社会福祉協議会とケアプラザ生活支援コーディネーターとの共催で実施しました。

今後の新しい展開は地域関係者と検討していく予定です。

・地域との連携会議&連絡会を定期的に開催して地域住民、関係機関との連携に務めました。

(千丸台情報連絡会、笹山支え合い連絡会、地域ケア会議、ケアマネ連絡会)

#### 医療・介護の連携推進支援

・保土ヶ谷区7包括と区役所、保土ヶ谷区在宅医療相談室との共催で多職種連携連絡会を開催し、各機関の連携を目的に事例検討会を行いました。開催回数は少ないですが、会を重ねることで確実に日頃の顔の見える関係作りと連携に繋がっていることを実感しています。

・取り組みとしてはまだ途上段階ですが、団地で抱えている精神障害の方の対応について、近隣で新設された医院との連携を取り始めています。今はメールで状況報告のやりとりになっていますが、必要があれば専門機関への紹介など対応策の検討は進めています。

・また、来年2月に実施予定ですが、昨年度に引き続き、医療及び介護のみならず福祉の分野として民生委員にも参加していただき、この地域が抱えている課題について共通認識をもち、自分に置き換えてどのように対応できるか話し合う会議を企画しています。

#### ケアマネジャー支援

(目標)

・相談への支援、支援困難ケースへの支援、緊急対応時の支援等を随時行いました。エリア内居宅支援事業所への訪問は定期的には実施できず今後の課題です。

・区内7包括で合同開催している「合同ケアマネ連絡会」と保土ヶ谷区居宅事業所連絡会「ほどがやケアマネット」、新任・就労予定ケアマネジャー研修で講師を依頼しての研修会や事例検討会を開催し、ケアマネジャーのスキルアップに務めました。

○合同ケアマネ連絡会

内容が充実してきているためか、昨年よりも参加者が増えてきており、参加定員を超える時が多く人数調整を行っている状況です。

○ケアマネ連絡会(20日会)

昨年好評だった、民生委員、医療機関、事業所等、多職種との合同研修会&情報交換会を企画し日頃の連携に

繋げています。(2月に開催予定)

○新人、就労予定ケアマネジャーへの支援として、例年通り4日間の研修会を実施しました。

フォローアップの研修会は、開催に至りませんでした。

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

・地域ケア会議

平成28年12月現在で今年度は2回行っています。2ケースとも認知症が進行していて、家族はいても介護力は望めなくて地域の見守りや支えによって生活してきたケースです。介護保険などの公的なサービスだけでなく、いかに地域が持っている力を共有できるか、地域でできることは何かという話し合いは持てたと評価出来ます。

また地域住民を含めたそれぞれの役割分担が出来たことと、参加者の地域ケア会議に関する理解が深まったことは成果だと思います。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

#### 【介護予防普及啓発事業】

地域特性に応じた『介護予防教室』を3地区全10回と、『地域開業医による健康講座』を2地区で開催。この2つの事業を中心に、今年度も一貫して地域に出向くスタンスで、普及啓発活動を展開できた。

・『介護予防教室』では終了後も継続して取組ができるよう、認知症予防に新プログラム「和太鼓で歌って回想健康法」を提供したところ、既存の「太鼓教室」につながり継続できている。また、栄養改善プログラムにも「簡単調理実習」を取り入れ実施。男性料理教室や会食等地域活動への広がりや担い手の発掘を目指したが達成できず、次年度の課題とする。

・生活支援コーディネーターとの共催

で福祉拠点や新自治会館で身近な地域開業医による健康講座「みんなで知ろう！認知症講座」、「伸ばそう！健康寿命」を開催。加齢に伴う身体の変化と疾患、生活習慣病の予防と健康寿命を伸ばすポイントについて、医療従事者の観点からの予防啓発は効果的で好評であった。

・千丸台、上新のまつりでは認知症予防へ向けた運動「コグニサイズ」の体験と啓発を実施。千丸台に於いてはヘルスマイトとの共催が実現し、今後の更なる連携強化に努めたい。

#### 【地域介護予防活動支援事業】

・地域活動グループ連絡会に於いて、地域グループリーダースキルアップ研修を開催。地域リハビリテーション支援事業の紹介、理学療法士の視点からの講義と運動の実技指導を実施した。21団体、31名参加であった。

・地域活動グループ活性化のための支援を予定である。

『サロン WA I WA I』は2月に理学療法士による活動の見直しと効果的な運動プログラムの提示と実技指導を予定である。

『ふれあいサロン』は3月に言語聴覚士による加齢に伴う摂食嚥下機能の低下と予防、機能維持のための集団プログラムの提示と実技を指導予定である。

## 生活支援体制整備事業

・地域との情報交換や顔の見える関係を築くこと、地域主体の支え合いの仕組づくりの推進を行うことを目的として、年間を通じて積極的に地域の活動等に参加しました。活動に参加する中で、既存の活動状況、地域のニーズ、不足資源の把握に努めました。

・前年度まで携わっていた、買い物おたすけマンの活動から得たニーズや情報を整理し、課題を抽出しました。29年度は活動の継続に向け、地域や包括、地域交流と共に、今後の展開を協議していく予定です。

区社協と地域交流との共催で、上菅田地域ケアプラザのエリア内にある、4地区の自治会、地区社協、民生委員などの地域の活動者に声掛けをし、生活支援体制整備事業における協議の場として、「エリアを超えた連携連絡会」を開催しました。各地区の生活支援活動の継続、発展、立ち上げに向けた情報交換を行いました。地区毎に既存の活動発表や2度のグループワークを行うことで、4地区の課題を抽出し、解決に向けた話し合いをすすめることができました。参加者が、地域のニーズに合った支え合いの仕組みを、主体的に作っていくことについての理解を深め、同時に既存の活動の立て直しや、発展に目を向けられたことは一定の成果といえます。

・地域のサロン、ぷらざカフェ、老人会などの活動に参加する中で、講座の開催、ボランティア活動団体の立ち上げや継続、新しい担い手の発掘等に関する相談を受けました。地域が主体的に取り組もうとしている活動に対して、それが円滑に進められるよう、サポートを行いました。今後の展開については、地域の活動者と共に検討していく予定です。

・包括との共催で、上菅田エリアの福祉拠点である、かみすげたいっぷく茶屋で「みんなで知ろう！認知症講座」を開催しました。地域の高齢者や認知症の方々を見守るという観点から、地域活性の担い手を発掘することを目的とし、アンケートを実施しました。同じく、包括との共催で、新井町の新自治会館で「伸ばそう！健康寿命講座」を開催しました。住民主体の地域づくりに賛同し、得意能力を発揮して役割を担える人材の発掘を目的としたアンケートを実施しました。29年度は、アンケートの結果を自治会や地区社協の関係者と共有し、その結果をどう活用できるか、地域と共に検討していく予定です。

・包括と連携し、地域の見守りの目を増やし、若い世代の地域活動を促進することを目的として、PTA向けに認知症サポーター養成講座の開催をコーディネートしました。認知症について正しく理解し、地域の見守りについて、若い世代の方にも意識をしてもらえたことは1つの成果といえます。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 上菅田地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	19,594	29,094	148					5,789
	介護保険収入				6,047	11,524	35,494	5,446	
	その他						67		
	介護予防ケアマネジメント費				4,663				
	<b>収入合計(A)</b>	<b>19,594</b>	<b>29,094</b>	<b>148</b>	<b>10,710</b>	<b>11,524</b>	<b>35,561</b>	<b>5,446</b>	<b>5,789</b>
支出	人件費	11,600	20,481			11,298	34,595		3,250
	事務費	1,470	957			339	2,573		
	事業費	752	301	148			3,145		97
	管理費	5,109	1,358			288	5,958		
	その他				6,065				
	消費税	928							
<b>支出合計(B)</b>	<b>19,859</b>	<b>23,097</b>	<b>148</b>	<b>6,065</b>	<b>11,925</b>	<b>46,271</b>	<b>0</b>	<b>3,347</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>-265</b>	<b>5,997</b>	<b>0</b>	<b>4,645</b>	<b>-401</b>	<b>-10,710</b>	<b>5,446</b>	<b>2,442</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。



## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
配食サービスまんまる	高齢者	432,449		427,200		432,449	
	1400						
	400						
ミニデイサービス 「てらん森の友」	高齢者	135,466		92,800	20,537	114,929	
	483						
	300						
てらんカフェ 喫茶コーナー	地域	112,532		100,900		112,532	
	1571						
	50～100						
きらきらコパン	乳幼児	6,009		4,500		6,009	
	50						
	100						
エアロビクス教室 「アン・ドゥ・トワ」	地域	133,644		22,200	133,644		
	86						
	300						
てらんこども太鼓 こどもとなかまの交流会	子ども	24,000		21,050	24,000		
	151						
	500						
どんどこ太鼓B	高齢者	24,000		0	24,000		
	134						
	0						
楽しく健康体操	地域	50,000		0	50,000		
	23						
	0						
笹山夏祭り	地域	13,656		15,000		13,656	
	150						
	100						
千丸台文化祭&福祉バザー	地域	40,512		13,700		40,512	
	137						
	100						
まんまるフェスタ	地域	361,000		0		361,000	
	5000						
	0						
ボランティア懇親会	その他	99,873		0		99,873	
	39						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業予算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
てらん茶屋	地域	37,516		36,000		37,516	
	269						
	0~150						
ぷらざカフェ千丸台	地域	18,785		0		11,785	7,000
	265						
	0						
ぷらざカフェ笹山	地域	29,365		0		9,365	20,000
	284						
	0						
介護予防普及啓発事業	高齢者	134209		0	131969		2240
	818						
	0						
地域介護予防活動支援事業	高齢者	0		0			
	373						
	0						

# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイサービス てらん「森の 友」	<p>目的：原則として介護保険によるサービスを利用していない高齢者（主に独居者）へ、引きこもり防止のために外出の機会を提供する。</p> <p>内容：</p> <p>4月レクリエーション 11月太鼓で楽しく健康法 5月生演奏で歌う会 12月クリスマス会 6月歌謡ショー 1月新年会 7月剣舞 2月包括による講座 8月夏祭り 3月お楽しみ会 9月千丸台保育園交流 10月ミニオリンピック</p>	第2土曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食サービス まんまる	<p>目的：独居高齢者、食事作りが困難な方への支援</p> <p>内容：1食400円のお弁当を配食する</p> <p>対象：主に上菅田町、新井町在住の高齢者</p>	第1・2・3水曜日 (31回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり教室	<p>目的：高齢者の健康と体力の維持、向上</p> <p>内容：高齢者向けの健康体操</p> <p>対象：高齢者</p> <p>共催：健康リーブくらぶ</p>	毎月第1・3木曜日 (21回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんクラブ (親子体操教室)	<p>目的：発達機能や情緒を養う。</p> <p>内容：親子で楽しみながら体を動かす。</p> <p>対象者：就学前親子</p> <p>共催：健康リーブくらぶ</p>	毎月第1・3木曜日 (21回)

# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
てらんカフェ	目的：地域の方々の憩い・交流の場として、またボランティア人材発掘のため 内容：ボランティアによる喫茶サービス 対象：地域	毎週木曜日 (35回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ図書館	目的：近隣地域の子育て中の親子へ仲間づくりや交流による子育て支援 対象者：未就学児 内容：お部屋の開放。おもちゃ図書館にあるおもちゃやビデオ、絵本で遊んでもらう。	月曜日～土曜日 (57回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビデオ・DVD・絵本 大型紙芝居等の貸し出し	目的：近隣地域の子育て中の親子へ仲間づくりや交流による子育て支援 対象者：未就学児 内容：おもちゃ図書館にあるおもちゃやビデオ、絵本を貸し出す。	常時実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の夏祭り参加	目的：地域の夏祭りに参加し、繋がりを深めケアプラザを知ってもらう。地域交流。 内容：出店、相談コーナー 対象：地域	8月 笹山

# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域の福祉祭り参加	<p>目的:地域のお祭りに参加し、繋がりを深め近隣福祉事業所を知ってもらう。</p> <p>対象:地域</p> <p>内容:出店、相談コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千丸台文化祭&amp;福祉バザー</li> <li>・ほっとな福祉健康祭り</li> </ul>	<p>11月 千丸台</p> <p>11月 上新</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まんまるフェスタ	<p>目的:ケアプラザ・てらん広場が中心となりお祭りを開催することで、障害を持ったてらん広場利用者への理解、地域との繋がり作りを図る。</p> <p>対象:地域</p> <p>出店:手作り食べ物、雑貨、地域作業所製品販売他、施設紹介コーナー、被災地作業所授産品の販売等</p> <p>ステージ企画:ダンス、歌、バンド演奏他</p>	<p>10月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民祭り	<p>目的:区民が多数来場する「区民まつり」に区内すべてのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>内容:自分のエリアのマップにお薦めの場所だけでなく、危険な場所なども記入してもらった。吹き出しの付箋を使用する事で地図上わかりやすくなるようにし、又区全体のマップを前方目立つように置いて来場者の興味がわくようにした。</p>	<p>10月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく健康体操	<p>目的:この事業開始当初は介護者支援講座の一環として始まった為、介護者同士の交流や気分転換が主目的であった。しかし、介護予防の観点から自分自身の介護予防が主目的になっている。また、地域の転倒骨折予防教室グループのリーダー研修としても利用されるようになってきている。</p> <p>対象:体操に興味のある高齢者の方</p> <p>内容:お手玉やタオルを使った体操など</p> <p>講師:日永保美先生(ヤン・スポーツ企画)</p>	<p>6月、12月(2回)</p>

# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
喫茶コーナー	目的：喫茶サービスによる憩いの場づくり。 対象：地域 内容：受付カウンターにてコーヒーサービス。	常時実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉作業所 製品販売・調整	目的：障がい者の福祉向上と製品販売によるより良い 地域交流 対象：地域 内容：近隣福祉作業所の小物、パンやお菓子、味噌、豆腐 などの販売・調整	常時実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
買い物 「おたすけマ ン」	目的：千丸台団地高齢者、障がい者への買い物支援、千丸 台商店街の活性化、幸陽園利用者の社会参加 対象：千丸台団地在住の高齢者・障がい者 内容：千丸台団地在住の高齢者・障がい者を対象に、幸陽 園利用者が千丸台商店街・自治会・地区社協と連携 して、高齢者の買い物を代行する。	月～金曜日 (75回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笹山配食サービ ス「ひまわり」	目的：笹山団地高齢者、食事作りが困難な方への支援 対象：笹山団地高齢者、障がい者 内容：法人内の障がい者施設の幸陽園を利用している障が い者がお弁当を作り、プラザボランティアと一緒に笹山団 地にお住いの高齢者・障がい者にお届けしている。	配達：毎週木曜日 回収：毎週金曜日 (99回)

# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあい収集	目的：千丸台団地高齢者・障がい者へのゴミだし支援、てらん広場利用者の社会貢献 対象：千丸台団地高齢者、障がい者 内容：資源循環局のふれあい収集をケアプラザ・てらん広場が引き継ぎ、てらん広場の利用者と職員が安否確認を兼ねたゴミ回収を行う。	月～金 (253回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
千丸台朝市	目的：千丸台の朝市に参加し、繋がりを深め上菅田地域ケアプラザを知ってもらう。 対象：地域 内容：模擬店、フリーマーケット	4月、6月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらん茶屋	目的：地域住民である子ども、大人、高齢者、障害児者の憩いの場・ふれあいの場としている。 内容：男性料理教室を卒業した3名がボランティアとして、手作りケーキ等を提供している。	第3土曜日 (10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きらきらコパン	目的：近隣地域在住で、子育て中の親子への仲間作り、交流の場を提供。季節に応じたイベント、子育て支援の情報を提供。 講師：うさちゃんクラブ 内容：5月：折り紙でお弁当作り 9月：うちわづくり 12月：クリスマス会	5月・9月・12月 (3回)

# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
てらんこども太鼓	目的：障がいのある子とない子が地域の一員として当たり前に暮らし、関わりをもち、地域の中で一緒に学べる場の提供。 内容：個別支援学級と一般学級に通う子ども達の合同太鼓教室 対象：上菅田、新井、笹山の小・中学校に在学の個別支援学級、一般学級に通う子ども達 講師：ほどがや希望の家 島田 直樹 氏	第4日曜日 (11回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア懇親会	目的：登録ボランティアの交流、ボランティアを労う 対象：登録ボランティア 内容：昼食を食べながらの交流会。各団体のメンバーより、各事業の説明や自己紹介など	2月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エアロビクス教室 アン・ドゥ・トロ	目的：地域住民の健康づくりとして、音楽に合わせた運動と脳トレ教室。若い世代から運動習慣をつける機会の提供。 内容：音楽に合わせて体を心もリフレッシュ、楽しく体を動かし運動の中に脳トレを取り入れる。	月1回（土曜日） 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラ文化祭	目的：貸室利用している団体が日頃の練習成果を發揮できる場を提供。地域住民を招くことで、貸室利用している教室への参加のきっかけづくりを図る。 対象：地域住民 内容：貸室利用団体によるコンサート、展示	12月



# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どんどこ太鼓B	<p>目的：地域住民の健康づくり、介護予防の一環として行う太鼓教室。リズムを覚えて太鼓を叩くことにことごとくによって脳の活性化と体力の向上を図る。</p> <p>対象：地域の高齢者</p> <p>内容：太鼓の練習と地域のおまつり等で太鼓演奏を行う。</p>	月1回（日曜日） 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんこども太鼓&なかまの輪太鼓交流会	<p>目的：法人内グループホームの障害者で結成されている成人和太鼓チーム「なかまの輪太鼓」とケアプラザ自主事業の「てらんこども太鼓」が太鼓を通じて参加者同士の交流を図る。また、お互いの演奏を観ることで、活動への意欲向上を図る。</p> <p>内容：それぞれチームの練習の成果を発表し合い、その後一緒に演奏した。太鼓演奏後は交流会を開催。餅つき大会をし、自分でついた餅とこちらで用意したお弁当を食べながら交流を図った。</p>	8月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者余暇支援事業 ほっとフレンズ なつ	<p>目的：学齢期障害児への長期休暇中の余暇支援とその御家族へのレスパイト。また、ボランティア育成。</p> <p>対象：学齢期障害児、高校生以上ボランティア</p> <p>内容：夏祭り&amp;イベント体験を実施。参加者とボランティアがペアになり、模擬店と腹話術の鑑賞、バルーンアートの体験を楽しんだ。</p>	8月：単発 ※説明会がある為 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者余暇支援事業 ほっとフレンズ はる	<p>目的：学齢期障害児への長期休暇中の余暇支援とその御家族へのレスパイト。また、ボランティア育成。</p> <p>対象：学齢期障害児、高校生以上ボランティア</p> <p>内容：春祭り&amp;イベント体験を実施。参加者とボランティアがペアになり、模擬店と仏向バンドとの音楽体験を楽しんだ。</p>	3月：単発 ※説明会がある為 計2回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夕焼けどんどこフェスティバル	目的：肢体不自由、知的障害を持った子どもとその親を対象に余暇を実施し、親子で楽しめるプログラムを提供。 内容：上菅田特別支援学校、個別支援級の親子を対象に余暇を実施。コンサート、模擬店、花火を楽しんだ。模擬店は地域のボランティアグループに依頼。	9月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手話 ひまわり	目的：手話を学ぶことで聴覚障害の方の支援を目指す。手話を通して仲間作り、交流の場、手先を動かすことで介護予防を図る。 会場：上菅田地域ケアプラザ・てらん広場 レストラン 内容：手話、手話ダンス、歌に合わせて手話を学ぶ	月1回（土曜日） 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキング講座	目的：体力測定をして、自分の身体、体力にあったウォーキングを学び、暮らしの中にウォーキングが定着することを目的とする。また地域のウォーキング団体等、地域活動参加へのきっかけづくりとする。 会場：上菅田地域ケアプラザ 多目的ホール、中庭 内容：横浜市体育協会の方を講師に、自分の体力やバランス力を測り、歩く時の姿勢等、ウォーキングに必要な知識を学び講座の最後には学んだウォーキングを実践した。	12月・3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及啓発事業	目的：参加しやすい身近な地域会場で、地域開業医と連携した介護予防教室を展開し、高齢者が意欲的に予防活動に取り組めるように支援する。 内容：①介護予防教室：笹山地区・千丸台地区・上菅田芙蓉ヶ丘自治区にて『GOGO健康！きらり☆シニア教室』の開催。②講演会：地域開業医による健康講座『伸ばそう！健康寿命』『認知症なんて怖くない』の開催③地域イベントを活用した予防啓発：『コグニラダーをやってみよう』と体内年齢測定④健康教育：施設協力医による健康講座と相談会の開催。⑤自治会・老人会・サロン等での出前講座	通年 44回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援	<p>目的：地域活動グループ連絡会やボランティアの育成・スキルアップ研修にリハ専門職の介入を図り、活動内容の強化と継続を支援する。</p> <p>内容：地域リハ活動支援事業を利用した支援</p> <p>①PTによるグループリーダースキルアップ研修の開催</p> <p>②地域活動グループ運営支援</p> <p>『サロンわいわい』：PTによる体操のポイントと実技指導</p> <p>『ふれあいサロン』：STによる嚥下メカニズムと機能維持のプログラムの提供。</p> <p>③地域活動グループ育成支援</p>	通年 26回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷらざカフェ 千丸台	<p>【目的】</p> <p>①地域に出向き専門職がお話を伺い、関係機関の紹介や地域の情報提供を行う身近な相談窓口とする。</p> <p>②講座開催を通じて周知啓発を図ると共に、しゃべり場として顔の見える関係づくりに努める。</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【内容】</p> <p>①生活支援センターと共催、精神保健福祉士を交えて地域精神疾患の方のつどい</p> <p>②施設協力医による医療相談</p> <p>③包括による介護予防、終活などの講座開催と軽食会</p>	毎月第2水曜日・ 第4水曜日 13:00～14:00 ※8月と12月は 休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷらざカフェ 笹山	<p>【目的】</p> <p>①地域に出向き専門職がお話を伺い、関係機関の紹介や地域の情報提供を行う身近な相談窓口とする。</p> <p>②講座開催を通じて周知啓発を図ると共に、しゃべり場として顔の見える関係づくりに努める。</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【内容】</p> <p>①包括による介護予防、終活などの講座開催と軽食会</p> <p>②同時に介護予防を目的として、小物づくり、麻雀、囲碁や将棋、和太鼓教室を提供している。</p>	毎月第4火曜日の 10:00～15:00 ※8月と12月は 休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オレンジロボの 会	<p>【目的】 担当地域におけるキャラバンメイトの自主的な組織化を図る。</p> <p>【内容】 ケアプラザが主体となってサポーターの増大から地域における認知症の方の見守り活動を広げていく。認知症カフェのような地域における拠点づくり・運営を目指す。</p>	年4回程度

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】 地域の方々に認知症への偏見をなくして正しく理解をしてもらう。</p> <p>【内容】 サポーター養成講座を開催することで地域での見守り役となる地域住民におけるサポーターを増やす。</p>	年 8 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護の広場	<p>【目的】 地域で要介護の方を介護されているご家族・ご本人、或いは介護に関心のある方を対象に講座や勉強会など設けて情報交換を主に行う。</p> <p>【内容】 介護に関わる情報等を得る持ち、ご自身やご家族の将来の生活などの方向性など検討できる機会とする。因みに今年度は特別養護老人ホームの見学会を行う。</p>	年 3 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
後見講座	<p>【目的】 後見制度について正しく理解していただき、ご家族やご自身の今後にそなえていただく。</p> <p>【内容】 今回は法定後見制度について手続きの方法や後見人の役割、必要な費用など説明して制度について理解していただく。</p>	年 1 回 1 2 月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症講座	<p>【目的】 病院に診察に訪れる方やその家族を対象に認知症講座を開くことで、普段ケアプラザに来る機会のない層へ、認知症に関する正しい知識を持っていただく機会とする。</p> <p>【内容】 ドクターによる認知症理解を深める講座と、併せてケアプラザの役割機能の説明を行うことで、区内全体のケアプラザへの認知度向上も目指す。更に医療機関との連携も深めていく。</p>	年 2 回 1 0 月・1 1 月